

◆お名前/ご所属： 水上 裕輔(ミズカミ ユウスケ) 先生 /旭川医科大学内科学講座
消化器内科学分野

◆研究テーマ： 膵癌の初期発生とクローン進化の多様性解明

◆助成金額： 100 万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

小学校低学年の頃、母が癌検診で異常を指摘され、大好きな身内を失うことに恐れと怒りを感じ、医師を目指しました。卒後、苦勞しながらも膵癌診療に取り組む先輩の姿に共感し、もっとも難しい病気にチャレンジすることを決心しました。足かけ7年間のハーバード大学での研究留学経験を糧に、病気の原理・原則に迫れる臨床医でありたいと思うに至りました。

2：助成研究の内容紹介

膵癌は患者さんの予後は固形癌で最も不良ですが、最大の理由は診断時に多くの患者さんは進行癌であるためです。従来より、癌は正常組織から発生した異常な創始クローンが長い時をかけ「段階的に」異型度を増していくと考えられてきました。しかし、膵癌の早期発見のためには、このような古典的モデルから脱却し「急激な進化」を促す未知の分子機構を解明する研究が必要だと考えました。今回の私たちの研究では、浸潤癌の創始クローンを特徴付ける分子を探索し、前駆病変群から膵癌への「進化」に関連する新しいバイオマーカーや治療標的を特定します。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

私たちは、膵発癌を引き起こす創始病変、いわゆる「癌の芽」の同定を目指します。また、臓器内外へ病変の拡がりを担う新規の分子情報を取得することにより、画期的な膵癌早期診断のための技術基盤の確立を目標とします。究極的には発癌予防へ繋がる研究へと発展させたいと考えています。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

膵癌が難治癌である現状を「過去」のことにできるよう、また、研究成果をいち早く社会還元できるよう、患者さんと共に歩んで参りたいと考えています。